

マルメ大学でのスウェーデンのう蝕予防の研修には、以前より参加したいと思っていましたがなかなか都合が合わず、今回ようやく参加することができました。

参加したことで一番感じたことは、マルメ大学の先生や衛生士さんがとてもしっかいとした哲学（フィドソフィー）を持っていることです。

カリエスが活動性かどうかをしっかりと見極めるためには、きちんとした検査とあせらず患者さんの生活のバックボーンを見ることが大切なのだと改めて感じました。

また、国の保険制度もリスクアセスメントをして等級が決まるという話にも感銘を受けました。品行方正にきれいな歯を保とうとしても、遺伝的な要因やアブフラクションなどの外的因子でどうしてもカリエスができてしまった患者と、タバコを吸ったり歯を磨かない人で同じ費用というのは確かにおかしい話だと思いました。

日本に帰って少しでも多くの先生に今回感じたことを伝えたいと思い、まとめを作成しております。

今後は地域の患者教育のみならず、モチベーションの高い先生方と共有して、日本人のデンタル IQ 向上に貢献して行きたいという考えが芽生えた研修でした。

このような機会を与えてくださった日吉歯科の先生方をはじめ、一緒に研修をしてモチベーションを高めあった先生や衛生士に、この場を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございました。